
1. 業務概要

1.1 業務名

平成 29 年度鳥類の渡りルートに関する調査及びセンシティブティマップ作成等
委託業務

1.2 委託者

環境省自然環境局
担当部署：野生生物課

1.3 受託者

いであ株式会社

1.4 業務期間

平成 29 年 4 月 10 日から平成 30 年 3 月 30 日

1.5 業務目的

平成 27 年 7 月に、エネルギー基本計画の方針に基づき策定された「長期エネルギー需給見通し」では、2030 年までに総発電電力量の 22～24%程度を再生可能エネルギーとすることを政府目標としている。

そのような中、再生可能エネルギーの 1 つである風力発電施設については、猛禽類をはじめとした鳥類が衝突する事故（バードストライク）が頻繁に発生しており、環境影響評価の結果、環境への影響が懸念されるとして、建設の回避を求められる等、鳥類の衝突への懸念によって、一定程度事業が進捗したにも関わらず、事業の推進が困難となる事例がある。

今後、風力発電施設の建設を推進するためには、鳥類への影響が懸念される区域の情報をあらかじめ事業者を提供することで、風力発電施設の建設にあたって鳥類への影響が懸念される区域を回避し、効率的な立地選定を進めるとともに、バードストライク防止につながる必要があることから、環境省では平成 28 年度からセンシティブティマップの作成を行っているところである。

本業務では、過年度の調査に加え、鳥類の主要な渡りルート等に関する調査を行い、センシティブティマップ作成に必要な基礎資料を整えるとともに有識者を含めた検討会を開催し、鳥類への影響が懸念される区域を提示したセンシティブティマップを作成することで再生可能エネルギー導入が加速され、バードストライク防止につながることを目的とした。

1.6 業務内容

- (1) 鳥類の主要な渡りルートに関する調査
- (2) 渡りの集結地調査
- (3) 調査結果のとりまとめ
- (4) 検討会の実施
- (5) センシティブティマップに係る GIS データの作成
- (6) センシティブティマップに係る事業者向け説明会の実施

1.7 業務工程

工程表を以下に示す。

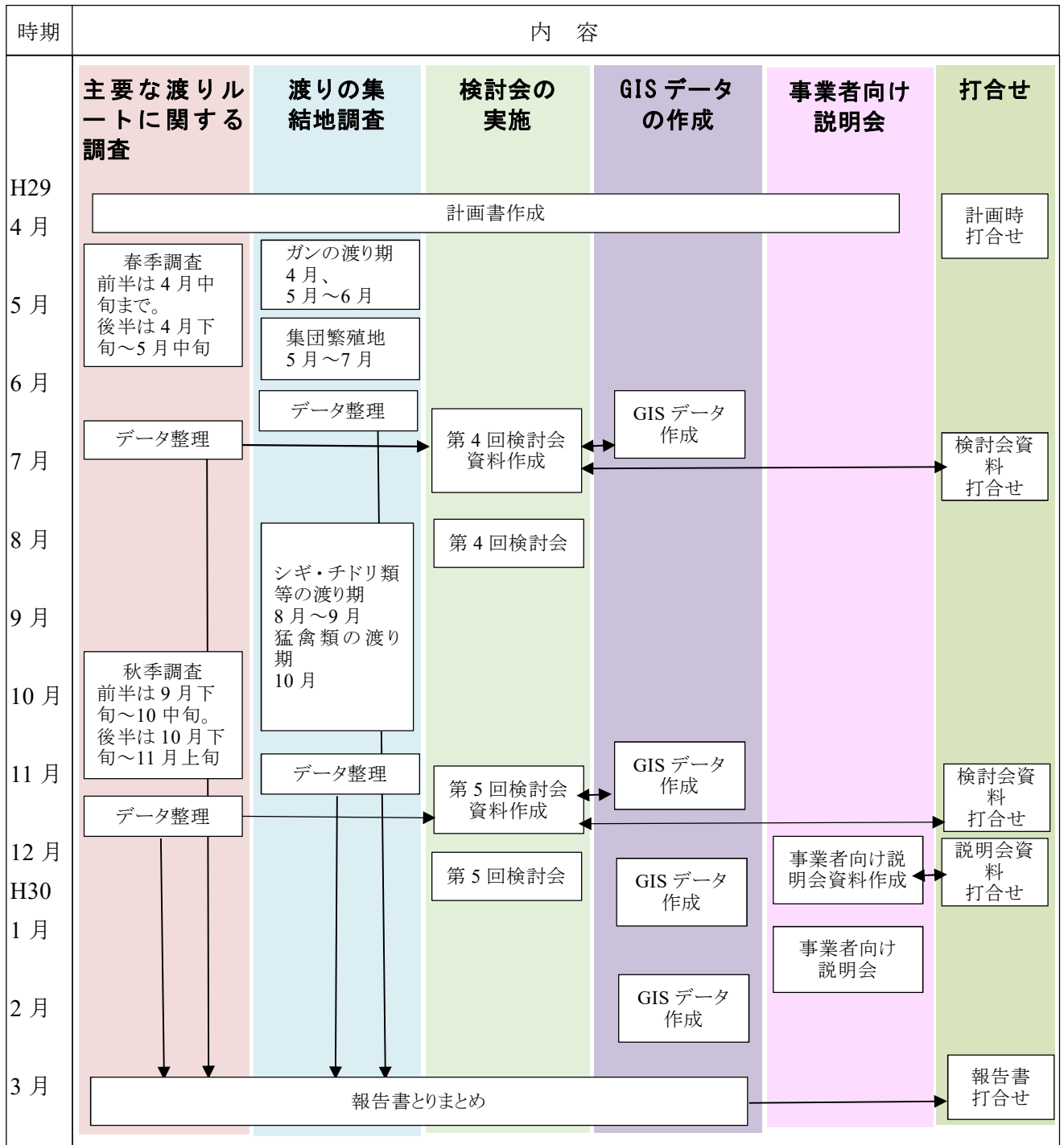


図 1-1 業務工程